

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

# 学力向上に向けた取組

函館市立鱒川中学校

## 1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着  
表現力の育成

## 2 課題解決の具体策

小規模校の特色を生かした指導の展開  
かかわり合いを通して学ぶ子どもの育成 ～一人一人を生かす指導の充実をめざして

## 3 取り組みの概要

について

- (1) 少人数の特性を生かし、習熟度に応じた課題を用意する
  - ・朝学習 ・授業での発問 ・宿題等
- (2) 一人一人へ対応する
  - ・宿題や自学等のノート点検をこまめに実施し、コメントを書くことで学習に対する意欲を高める。
  - ・教育相談を年に2回実施し、学習に関するアドバイスを行う。
- (3) 定期テスト学習計画の支援
  - ・定期テスト前の学習計画を中1段階でしっかりと指導し、計画的な学習する方法を指導する。また保護者の協力も得ながら、定期テストに向けた学習を進めさせる。
- (4) 長期休業中の学習会の実施
  - ・希望者を対象に、夏休みや冬休み中に学習会を実施している。苦手分野の克服だけでなく、生徒が自主的に学習する意欲を高めることにもつながっている。

について

- (1) かかわり合いを通して学ぶ子どもの育成 ～一人一人を生かす指導の充実をめざして
  - ・校内研究を通じて、「かかわり合い」のある授業を推進していく。
  - ・課題提示の工夫、自力解決における支援、子どもから思いや考えを引き出し、関わり合わせる場面の設定などを、日常の授業の中に取り入れていく。
  - ・現在の本校の生徒の実態に合わせた具体的な指導内容は、「聞き手を意識した話し方の工夫」や「話し手の意見を聞いて、自分なりの考えを持たせること」等である。

## 4 成果と課題

生徒が苦手としている分野を把握することで次の指導に生かすことができ、一人一人に適切な課題を与えることができた。それにより、生徒の学習意欲に高まりが見られたとともに、基礎・基本的な内容の定着に改善が見られた。また、「かかわり合う」場面を意識的に作ることで、聞き手を意識した話し方ができるようになってきた。

基礎基本の定着にまだ課題がある。中学校3年間を通じてどのような力をつけるのかを洗い出していく。具体的には、朝学習の内容の再検討等である。